

令和3年2月2日

令和2年度第4回市民活動推進委員会

令和3年2月2日(火)  
第4回市民活動推進委員会  
資料3

協働推進事業分類の試み及びアンケート結果の再考と  
キーワードの提案について  
(H28～R1実施14事業)

市民自治推進課協働推進担当



**協働推進事業  
分類の試み**

# 協働推進事業の評価方法

## 1 評価のタイミング

	プレゼン	1年目 中間	1年目 期末	2年目 中間	2年目 期末
外部評価	○		○		○
内部評価	団体側	○	○	○	○
	行政側		○	○	○

## 2 評価項目

### 外部

#### プレゼンテーション時

市民ニーズ  
市民提案型のみ

課題解決性

市民満足度

協働の効果  
相乗効果

団体の能力

特性(先駆性  
や専門性等)

事業具体性  
実現可能性

収支予算

事業発展性

#### 1年目・2年目期末評価

手法の  
妥当性

成果・効果

予算の  
妥当性

総合評価  
2年目のみ

### 内部

#### 協働プロセスについて (団体側・行政側共通)

目的共有

役割分担

対等性  
相互理解

自主性と  
自立性

透明性と  
公開性

相乗効果

協働プロセス  
総合評価

最終評価  
双方で1つ

#### 事業内容について (団体側・行政側共通)

事業目的  
達成度

成果目標  
達成度

事業  
スケジュール

事業手法  
の妥当性

市民ニーズ等  
情報収集

市民満足度  
の向上

事業内容  
総合評価

予算の  
妥当性

最終評価  
双方で1つ

# 協働推進事業の評価方法

## 1 評価のタイミング

	プレゼン	1年目 中間	1年目 期末	2年目 中間	2年目 期末
外部評価	○		○		○
内部評価 団体側		○	○	○	○
行政側		○	○	○	○

## 2 評価項目 ※反転部分を協働関連項目として扱う。

### 外部

#### プレゼンテーション時

- 市民ニーズ  
市民提案型のみ
- 課題解決性
- 市民満足度
- 協働の効果  
相乗効果
- 団体の能力
- 特性(先駆性  
や専門性等)
- 事業具体性  
実現可能性
- 収支予算
- 事業発展性

#### 1年目・2年目期末評価

- 手法の  
妥当性
- 成果・効果
- 予算の  
妥当性
- 総合評価  
2年目のみ

### 内部

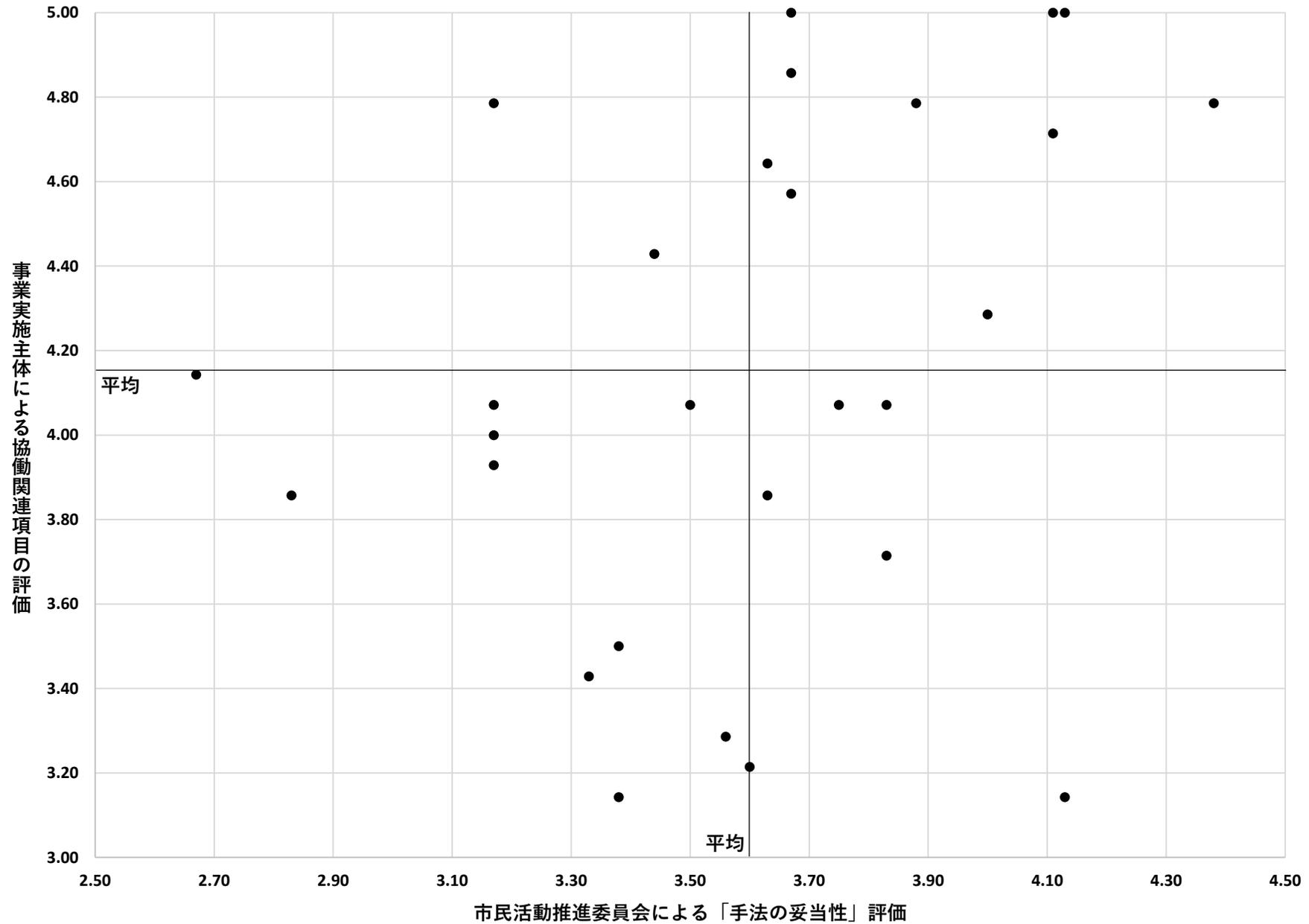
#### 協働プロセスについて (団体側・行政側共通)

- 目的共有
- 役割分担
- 対等性  
相互理解
- 自主性と  
自立性
- 透明性と  
公開性
- 相乗効果
- 協働プロセス  
総合評価
- 最終評価  
双方で1つ

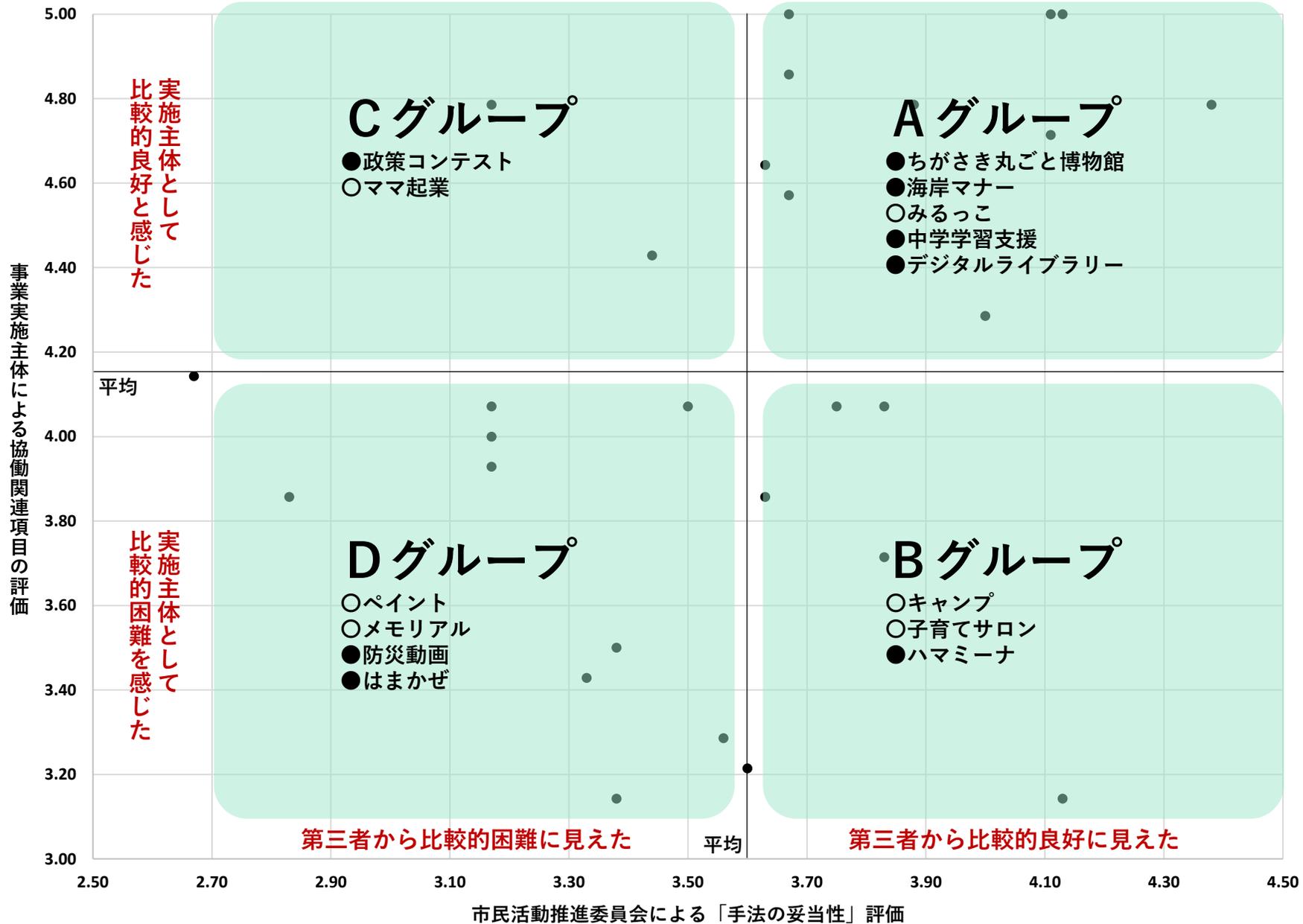
#### 事業内容について (団体側・行政側共通)

- 事業目的  
達成度
- 成果目標  
達成度
- 事業  
スケジュール
- 事業手法  
の妥当性
- 市民ニーズ等  
情報収集
- 市民満足度  
の向上
- 事業内容  
総合評価
- 予算の  
妥当性
- 最終評価  
双方で1つ

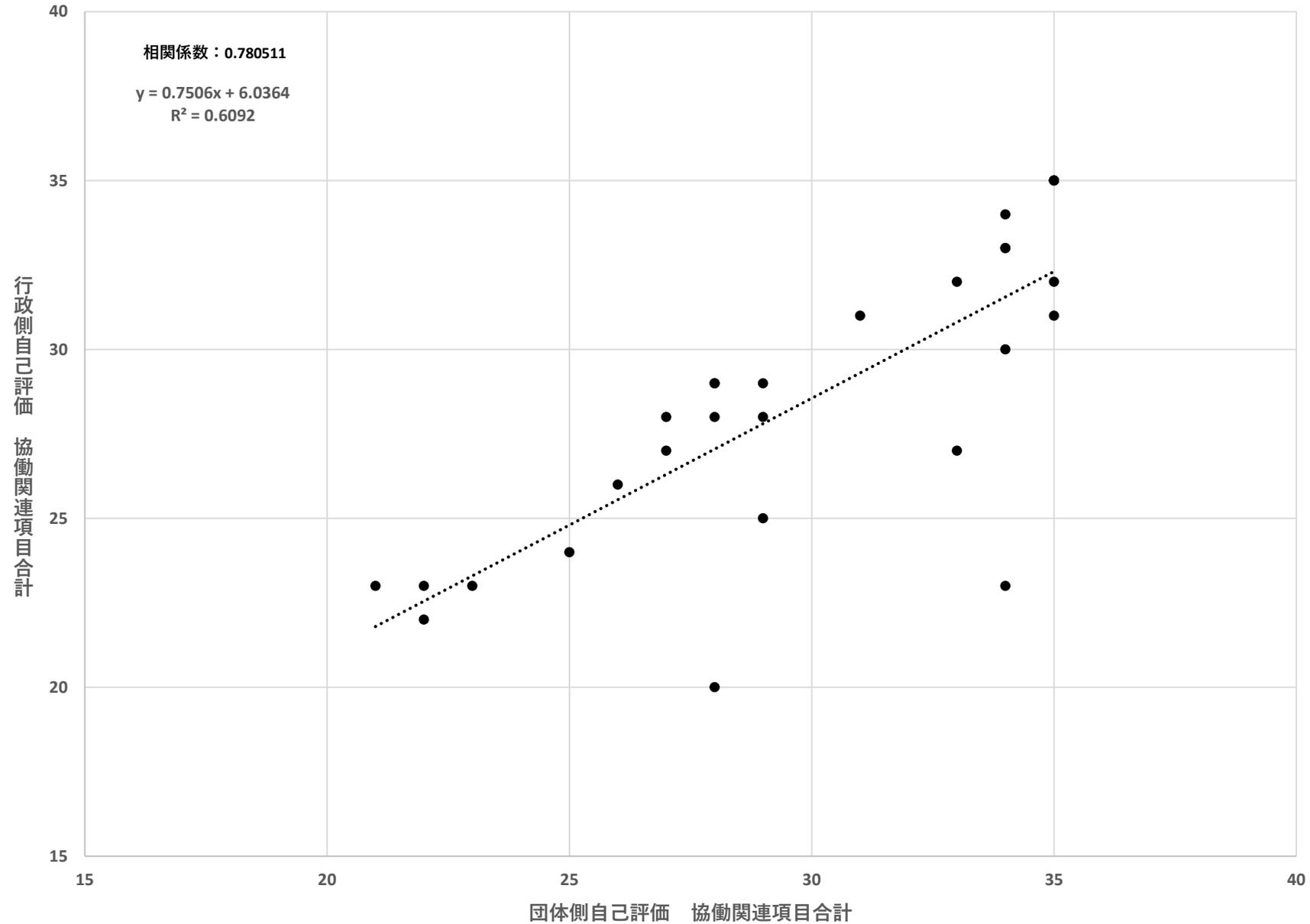
# 協働関連項目についての外部評価×内部評価による分類



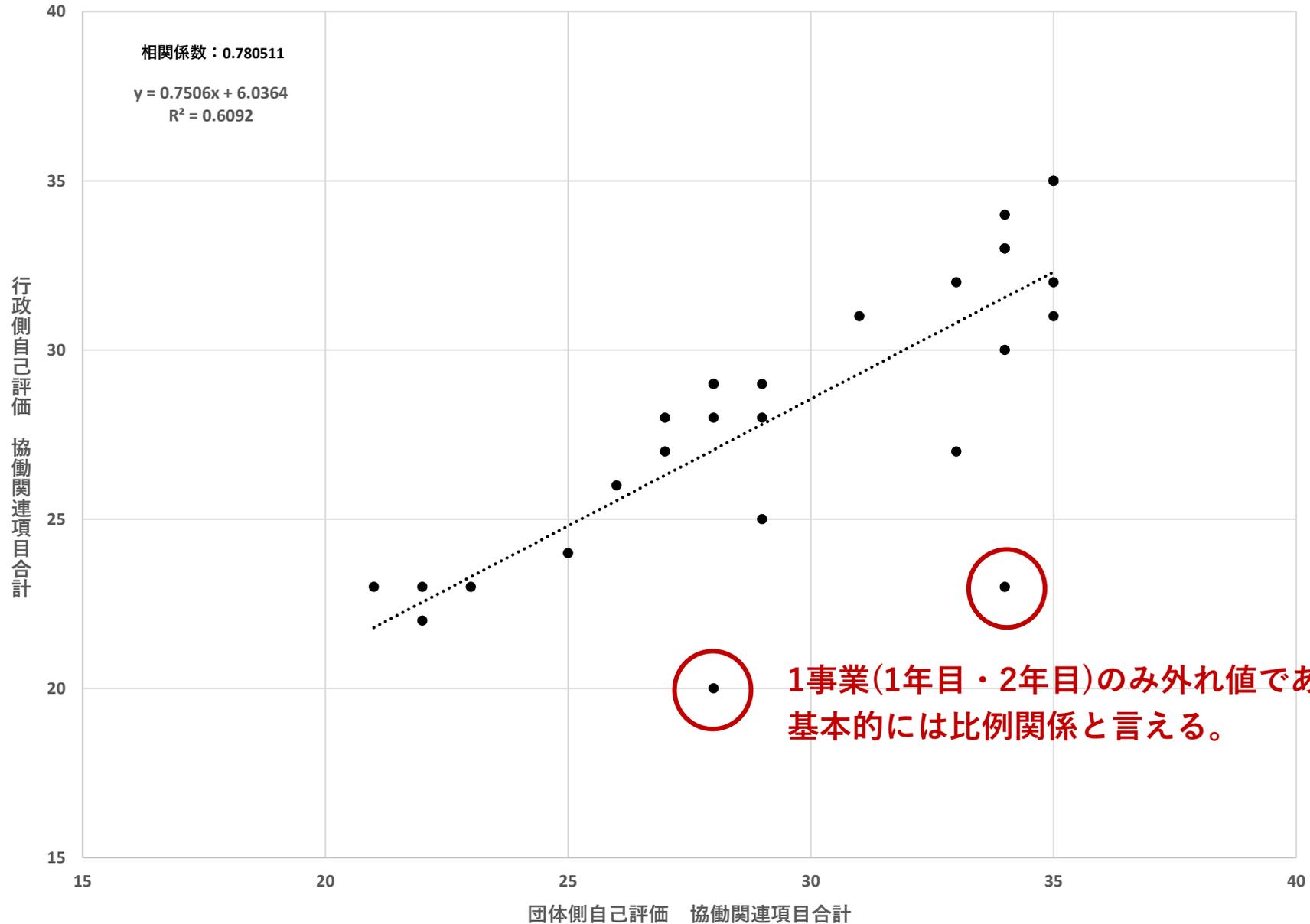
# 協働関連項目についての外部評価×内部評価による分類



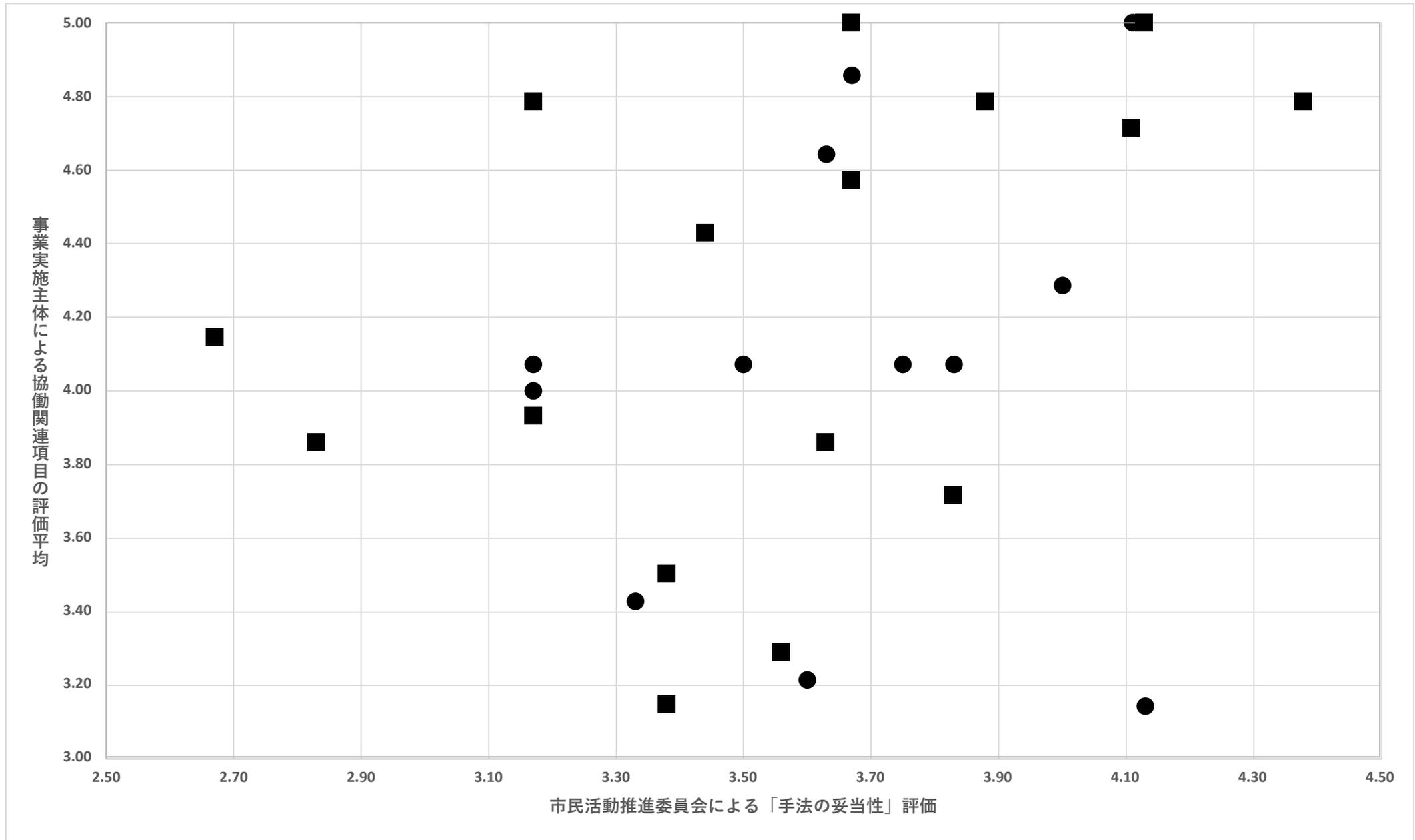
## cf. 協働関連項目についての内部（団体／行政）評価の相関



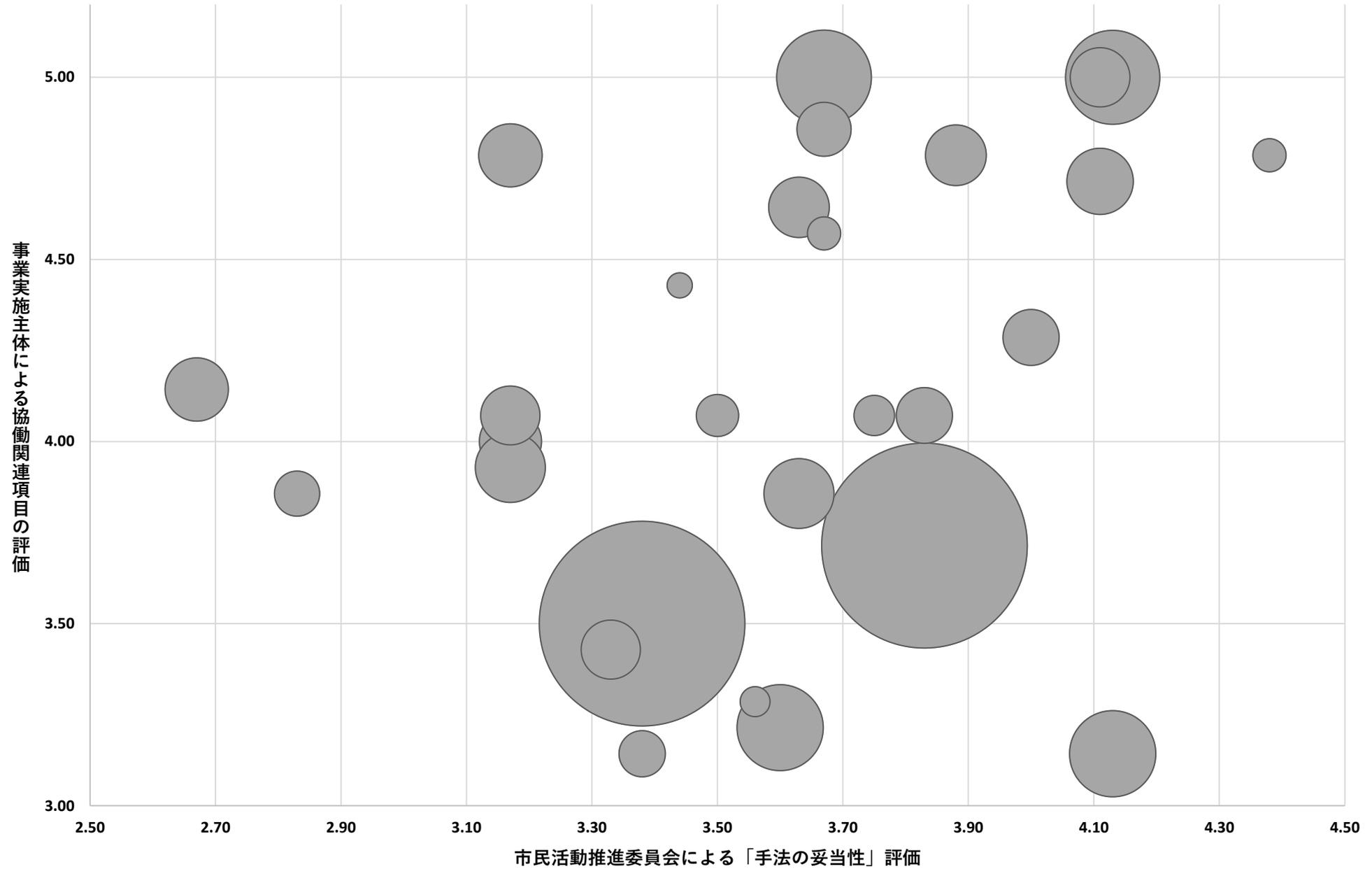
## cf. 協働関連項目についての内部（団体／行政）評価の相関



# 提案の型別 (●市民提案型 / ■行政提案型)

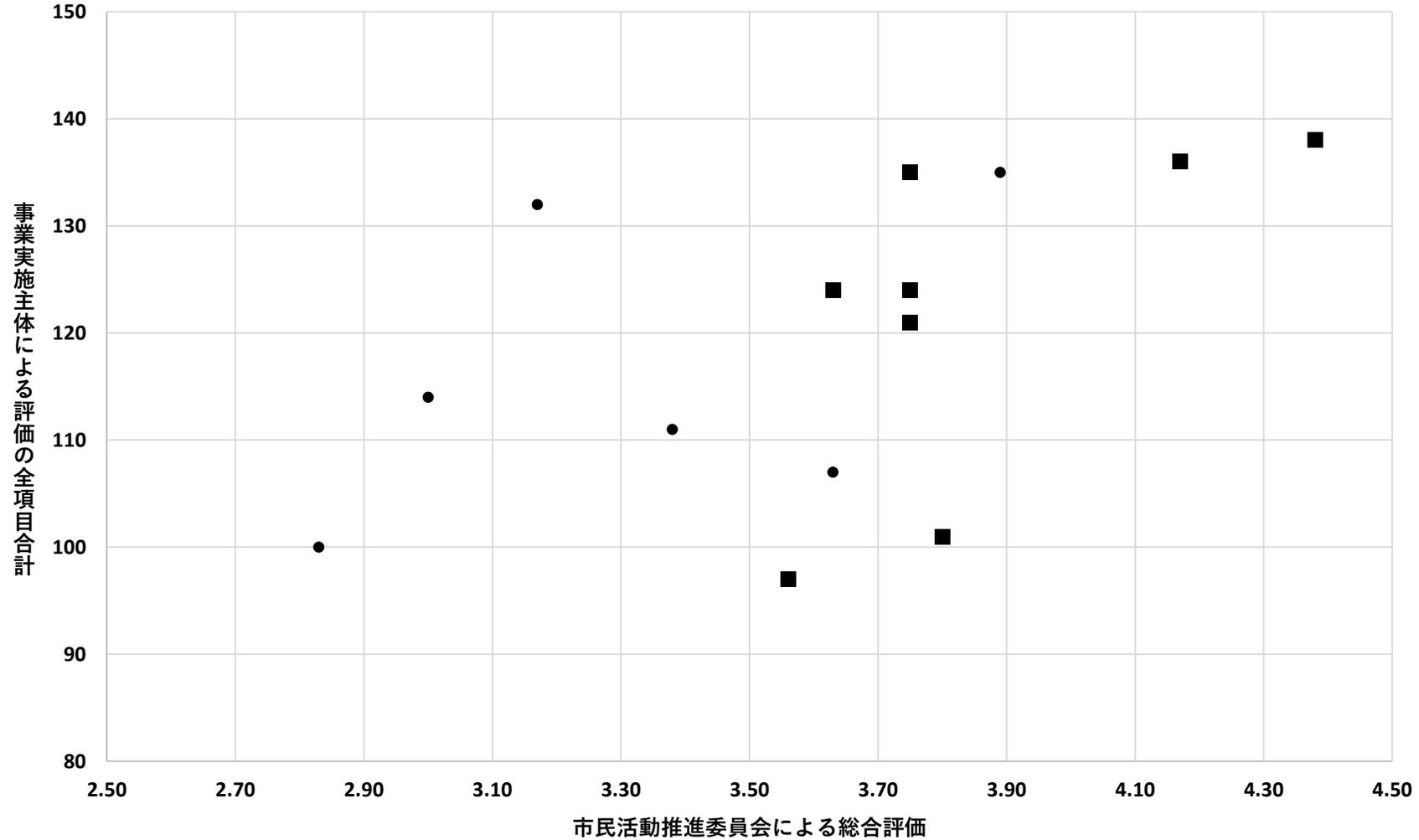


# 総事業費バブルチャート



100万円

# 1年目終了時の事業実施主体と委員会の評価と、継続有無 (■継続／●終了)





**分類に基づく  
アンケート結果の再考**

## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Aグループ・団体）

- ・ 2年目以降は、よりお互いわかり合えた。信頼感がつかめた。
- ・ (コミュニケーションがうまくいくための秘訣は)裏表なく話をする。事業を遂行するために思うことはきちんと述べる。言葉通り信じて受け止める。
- ・ 本音で話し合うことができた。
- ・ 言いたいことはお互いに言い合えた。
  
- ・ 市の職員は一生懸命やってくれていると感じた。
- ・ 担当課の人は毎年異動があったが、どの人もよくやってくれた。仕事を増やして申し訳ないが本当に良くやってくれた。
  
- ・ 一緒に大変なことを乗り越えたという感覚がある。
- ・ 協定書に書いていない内容を話し合っただけで出来た。
  
- ・ 担当課の人が配慮していたのか、（負担の偏りを）感じたことはない。仕事の役割が明確であった。事業計画を立てる段階で仕事内容を明確にして提出していたため、協働推進事業を行うときにも迷うことはなかった。

## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Aグループ・担当課）

- ・不安は全くない。とても信頼できる団体（担当者）だ。
- ・長年の経験に基づいた判断・行動により、（中略）非常に信頼できた。
- ・団体の中でミーティングをしっかりと行っており、スタッフ育成にも努力されていて、どのスタッフも安心できると感じた。
  
- ・本音を言える関係性ができた。いろいろ相談に乗ってくれて、市のことを理解してくれた。
- ・本音で話すことができた。（中略）感謝。
  
- ・この団体（担当者）だから一緒に仕事をしたいという思いがある。
- ・大変だったが、団体も頑張ってくれているのでお互いに頑張ろうという気持ちになった。
- ・役割分担はできていたと感じる。事業が始まる前に打ち合わせでお互いの役割について決めていた。
  
- ・（協働推進事業のコツは）ずるずる後伸ばしせず、先に決めておくべきことは決めておく。スケジュールを明確化しておくといよい。

## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Bグループ・団体）

- ・お互いに言いたいことが言える関係。（2件）
- ・(市の職員の)印象が変わった。こんなに人間味のある方なのだなと思った。仕事に一生懸命なところを見て感動しました。
- ・発想として、市が新しい企画についてやる方向に持って行こうとしてくれない。
- ・市の方が委託という姿勢。一緒に（中略）という姿勢がない。そもそもの考え方が違っているのでは。
- ・言いたいことも、徐々に言いづらくなる。
- ・役割分担を決めすぎるのはリスクーなのでは。役割分担ばかりにフォーカスすると、お互いに考えることをしなくなる。チームとしてやればよかった。市はこっちを、団体はこっちの役割をやってくださいと言われてしまった。

## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Bグループ・担当課）

- ・やる気があり、信頼できると思った。
- ・やる気のある団体。信頼性は高かった。
- ・信頼できた。
  
- ・お互いに話しやすい関係。融通も利いた。
- ・同じ立場。同じ目線で事業ができる。お互いの関係性。壁がない状態で話せたと思う。
- ・やりやすかった。担当者が良い方だった。
  
- ・パワーバランスは崩れていた。やりづらい面があった。
- ・コミュニケーションがとれなくなると危険なことになる。一步間違えたら危険だと感じた。キープレイヤーの人が大切。関係を壊してしまうと終わり。
- ・一緒にやるというよりは監視役みたいな位置づけが強かった。

- ・信頼できる団体。
- ・とても優秀な人。気軽に話し合える関係で進めていけると感じる。
- ・気さくな方でフットワークもあった。いい関係が築けた。
- ・お互いにいいものをつくろうという気持ちがあった。協定書に書いていない内容もお互いが主体として取り組んでいけた。
- ・いきなりドーンという（規模の大きい）ものは難しいので、少しずつの積み重ねから始めていきたい。

## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Dグループ・団体）

- ・なぜできないのかわからなかったが、徐々に理解できた。
- ・自由にやらせてもらった。
- ・市の職員に異動があると、関係性を最初から作り直すことが必要となってしまう。
- ・市の職員の異動により協働についての説明だけで1ヶ月かかった。

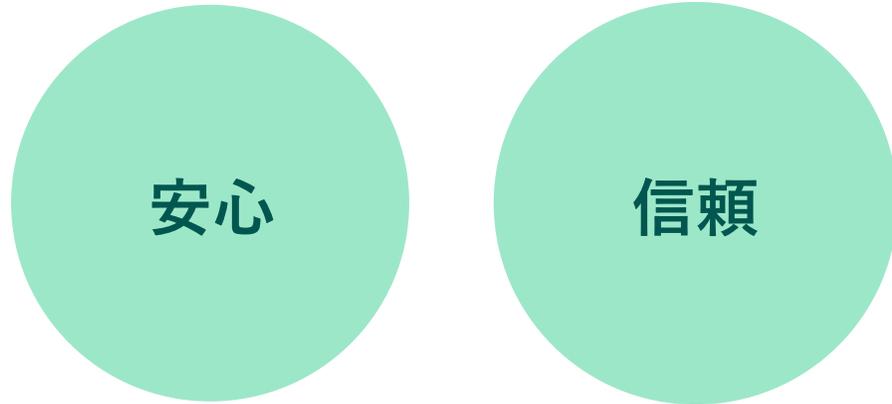
## 分類ごとのヒアリング・アンケート内容（Dグループ・担当課）

- ・お互いに**関係性はできていた**。双方の事情から時には衝突することもあったが、最終的にはお互いに合意し、事業を進めることができた。
- ・**関係は築けた**。担当してくれた人はとても話がスムーズであった。
  
- ・担当の人が仕切ってくれたからうまくいったが、**他の人だったら不安な様子**はあった。
- ・担当者の代えが効かないため、その人が何かあった場合に**不安**を感じた。
- ・事業の段取りが甘い。なんとなくこの程度でという**曖昧さが不安**だった。
  
- ・書類の提出期限について、**遅れてもいい**と思っている様子で催促を行う必要があった。
- ・役所の時間軸(×切意識等)と異なった認識でいるため、**資料提出の期限が守られることがなかった**。
- ・行政の仕組みについて**理解してもらえない**。
- ・協働に対する**理解が不足**していた。
- ・(関係性を)ある程度は築けたと思うが、**金銭が絡む話は難しかった**。
- ・市のルールとして出来ること出来ないことについて、**説明し納得していただくことが難しかった**。
- ・現場の感覚としては、事業者は表だった楽しいところばかりで、市が裏方をしているような状況だった。事業をするなかで出てきた新しい雑務に協力的でなかった。
- ・事業実施にかかる**役割分担は適正**だったとは言えない。市の負担が非常に大きかった。



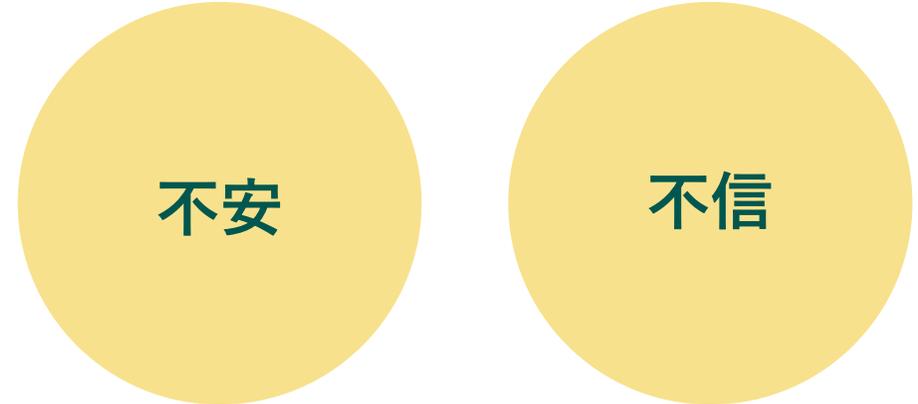
# キーワードの提案

## 「良い協働」に必要なもの



影響

## 「良い協働」の阻害要因



影響

コミュニケーション（本音で話せる関係）／協働への理解  
やる気・思い（一生懸命さ、一緒にやろうという気持ち）／事前・準備

「良い協働」に必要なもの  
最重要キーワード

安心

信頼

「良い協働」の阻害要因

不安

不信

影響

追加キーワード候補

影響

コミュニケーション（本音で話せる関係）／協働への理解  
やる気・思い（一生懸命さ、一緒にやろうという気持ち）／事前・準備